

《第4回 ICDアワード受賞者》

感謝と展望 —トランスレーショナルリサーチへの志—



昭和医科大学歯学部

澁 坂 和 大

このたびは、第4回ICDアワードを賜り、誠に光栄に存じます。私は2024年3月に大学院を修了し、現在は昭和医科大学歯科病院にて歯科矯正医として勤務しております。

国際的な活動といたしましては、第42回日本骨代謝学会にてASBMR 2024 Travel Awardを受賞し、カナダで開催されたASBMR 2024 Annual Meetingにて研究成果を発表いたしました。ASBMRは骨代謝学において世界最大の学会であり、50か国以上から1,100を超える演題が集まる国際会議です。発表の機会をいただいただけでも貴重な経験でしたが、さらにYoung Investigator Awardを受賞し、世界の研究者の皆さまから高く評価していただいたことは、身に余る光栄であり、大きな励みとなりました。

研究課題は「変形性顎関節症（TMJ-OA）モデルの開発と病態メカニズムの解明」に関するものです。私は、力学的ストレスや関節円板の位置異常といった要因がTMJ-OAに与える影響に着目し、それらを反映するマウスモデルを確立しました。そして、最新のオミ

クス解析を用いて病態の進展過程を明らかにすることを目指し、今回の国際学会ではこれらの研究成果を報告いたしました。

TMJ-OAを含む顎関節症は、臨床において多くの患者が痛みや機能障害に苦しんでいます。しかし、その発症機序は未解明な部分が多く、顎関節に特化した研究は世界的にも限られています。私は、基礎研究からのアプローチと臨床応用を視野に入れたトランスレーショナルリサーチの重要性を実感しており、今後も国際的な学術交流を通じて、さらなる発展を目指してまいります。

本受賞に際し、ご指導いただきました矢野文子先生（統括研究推進センター）、中納治久教授（歯科矯正学講座）、岡田寛之先生、寺島明日香先生（東京大学）、金英寛先生（京都大学）をはじめ、関係各位に心より御礼申し上げます。



授賞式にて